

**食品産業景況DI 5半期連続マイナス値、売上高DIが悪化**  
～下半期景況DIは持ち直しの動き～  
<食品産業動向調査(令和元年7月調査)>

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）農林水産事業は、「食品産業動向調査（令和元年7月調査）<sup>(※1)</sup>」を実施しました。調査結果の概要は以下の通りです。

- 令和元年上半期の食品産業の景況DI<sup>※2</sup>は、▲16.3（平成30年下半期実績比-2.0ポイント）となり、5半期連続のマイナス値となった。令和元年下半期の見通しは▲11.7となり、持ち直しの動きとなる見込み。
- 地域別の景況DIはすべての地域で引き続きマイナス値となった。令和元年下半期の見通しは北海道を除く9地域で上昇する見込み。
- 雇用判断DIは31.9となり、前回調査から改善がみられるものの、依然として雇用の不足感を示している。令和元年下半期の見通しは再び悪化に転じ、雇用の不足感は継続する見込み。

(※1) 本調査は全国の食品関係企業を対象に、平成9年から年2回、半期毎に実施しているものです。

(※2) DI (Diffusion Index = 動向指数) について

DIは、前年同期と比較して、「増加する（良くなる）」と回答した割合から「減少する（悪くなる）」と回答した割合を差し引いた数値です。

景況DIは、売上高DI、経常利益DI、資金繰りDIを単純平均した値です。

<調査結果のポイント>

**○ 売上高DIが大きく低下。経常利益・資金繰りDIはマイナス値横ばい。（資料:図1）**

食品産業の景況DI（▲16.3/前回比-2.0ポイント）は、平成29年上半期以降、5半期連続でマイナス値となりました。

売上高DI（▲17.4/同-7.4ポイント）が大きく低下したことに加え、経常利益DI（▲23.2/同+0.3ポイント）、資金繰りDI（▲8.2/同+1.1ポイント）がいずれもマイナス値で足踏みが続いているため、総合指標である景況DIもマイナス値となりました。

下半期の見通しは、売上高DIと経常利益DIが上昇、資金繰りDIが低下し、景況DI（▲11.7/上半期比+4.6ポイント）のマイナス幅は縮小する見通しです。

**○ [地域別] 景況DIはすべての地域でマイナス値（資料:図2）**

地域別の景況DIは、すべての地域でマイナス値となり、南関東、九州、東海の順に低下幅が大きくなっています。下半期は北海道を除く9地域で上昇する見通しです。

### ○ 【業種別】景況DIはすべての業種で横ばいまたは低下（資料:図3）

業種別の景況DIは、製造業▲13.1（前环比+0.1ポイント）、卸売業▲24.8（同-7.0ポイント）、小売業▲15.7（同-4.3ポイント）、飲食業▲16.6（同-0.1ポイント）となり、全業種で横ばいまたは低下となりました。

業種別の景況DIの下半期見通しは、製造業、卸売業、飲食業で上昇、小売業で低下する見込みです。

### ○ 販売数量DIは低下も下半期は改善の見通し。（資料:図4、図5）

[販売数量DI、販売価格DI]

販売数量DIは▲18.9（前环比-7.4ポイント）となり、マイナス幅が拡大しました。販売価格DIは9.9（同-1.1ポイント）となりプラス値を維持しています。

下半期の見通しは、販売数量DIは▲9.5（上半期比+9.4ポイント）となり、マイナス幅が縮小する見通しです。販売価格DIは10.7（同+0.8ポイント）となり、上半期横ばいの動きとなる見込みです。

[仕入価格DI]

仕入価格DI<sup>※3</sup>は45.0（前环比-5.2ポイント）となりました。また、下半期見通しは39.2（上半期比-5.8ポイント）であり、2半期連続の低下が予想されるものの、依然として高いプラス値であり、仕入価格が上昇していることを示しています。

※3 仕入価格DIは「上昇している」の回答割合から「低下している」の割合を差し引いた値。

### ○ 雇用判断DI 依然として深刻な労働力不足が続く見通し（資料:図6、図7）

雇用判断DI 31.9（前环比-9.4ポイント）は、前回調査（平成9年の本調査開始以降の最大値を記録）から低下したものの、依然として大きなプラス値となっており、深刻な労働力不足の状況を示しています。下半期見通しは、37.3（上半期比+5.4ポイント）となり、雇用の不足感は継続する見込みです。

設備投資DI（令和元年7月時点での通年の設備投資額見通し）は、6.1（前年7月の調査比-2.3ポイント）と低下しましたが、プラス値を維持しています。

調査時点	令和元年7月1日
調査方法	郵送により調査票を配布し郵送により回収
調査対象	全国の食品関係企業（製造業、卸売業、小売業、飲食業） 6,859社
有効回収数	全体で2,406社（回収率35.1%） 《内訳》 製造業：1,572社、卸売業：586社、小売業：194社、飲食業：54社

# 図1 景況DI (全国)

(景況DIは、売上高DI、経常利益DI、資金繰りDIを単純平均して算出)

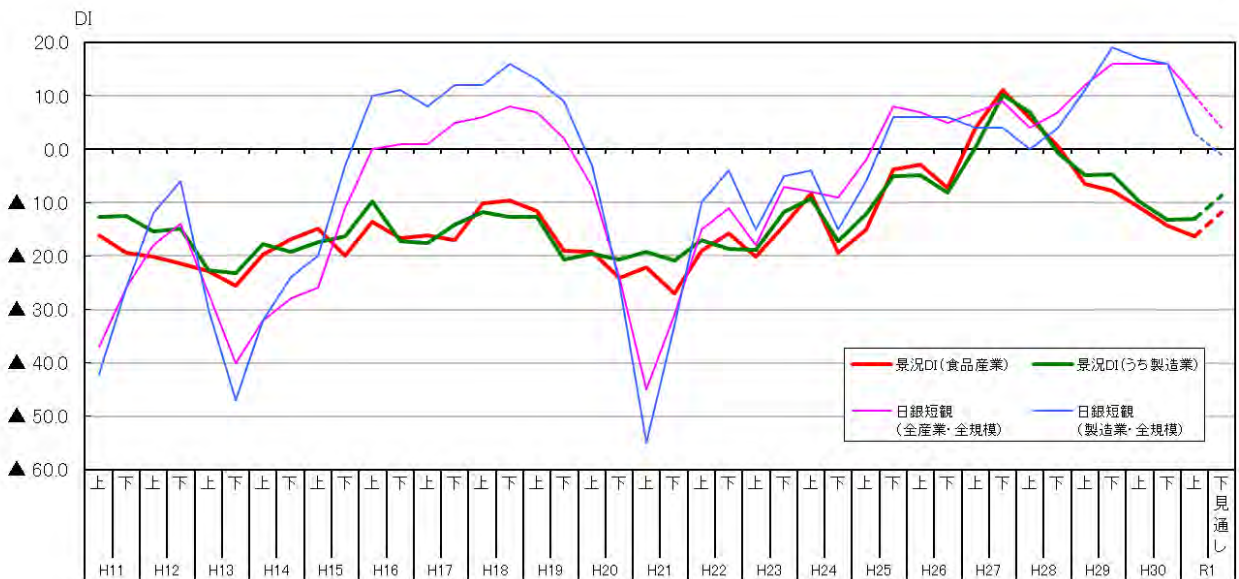
(「増加(良い)」-「減少(悪い)」の割合)

## 【実績】

- 令和元年上半期の食品産業の景況DIは、前回(平成30年下半期)調査より2.0ポイント低下し、▲16.3となった。
- 売上高DIは低下した一方で、経常利益DI、資金繰りDIはいずれもマイナス値で足踏み。

## 【見通し】

- 食品産業の景況DIの令和元年下半期は、4.6ポイント上昇し、▲11.7となる見通し。



(注) 日銀短観は、毎年6月調査、12月調査の数値を用いた。

	平成27年 上半期	平成27年 下半期	平成28年 上半期	平成28年 下半期	平成29年 上半期	平成29年 下半期	平成30年 上半期	平成30年 下半期	令和元年 上半期	令和元年 下半期 見通し
食品産業	4.0	11.0	5.9	0.6	▲6.5	▲7.7	▲10.8	▲14.3	▲16.3(-2.0)	▲11.7(+4.6)
うち製造業	0.3	10.2	6.9	▲0.7	▲4.9	▲4.7	▲9.7	▲13.2	▲13.1(+0.1)	▲8.7(+4.4)

( ) は前回との差

## 【参考】売上高DI、経常利益DI、資金繰りDIの推移

		平成27年 上半期	平成27年 下半期	平成28年 上半期	平成28年 下半期	平成29年 上半期	平成29年 下半期	平成30年 上半期	平成30年 下半期	令和元年 上半期	令和元年 下半期 見通し
食品産業	売上高DI	132	22.4	96	26	▲8.0	▲5.2	▲8.8	▲10.0	▲17.4(-7.4)	▲9.2(+8.2)
	経常利益DI	1.5	10.8	6.1	▲1.8	▲10.3	▲15.1	▲17.6	▲23.5	▲23.2(+0.3)	▲15.0(+8.2)
	資金繰りDI	▲2.8	▲0.2	2.1	1.1	▲1.1	▲2.9	▲6.1	▲9.3	▲8.2(+1.1)	▲11.0(-2.8)
うち製造業	売上高DI	99	21.9	12.7	▲0.4	▲7.1	▲0.7	▲5.3	▲7.2	▲12.2(-5.0)	▲4.8(+7.4)
	経常利益DI	▲4.0	9.7	6.6	▲2.9	▲6.7	▲11.0	▲17.0	▲22.6	▲19.5(+3.1)	▲10.7(+8.8)
	資金繰りDI	▲4.9	▲1.0	1.5	1.3	▲0.8	▲2.5	▲6.7	▲9.7	▲7.7(+2.0)	▲10.6(-2.9)

( ) は前回との差

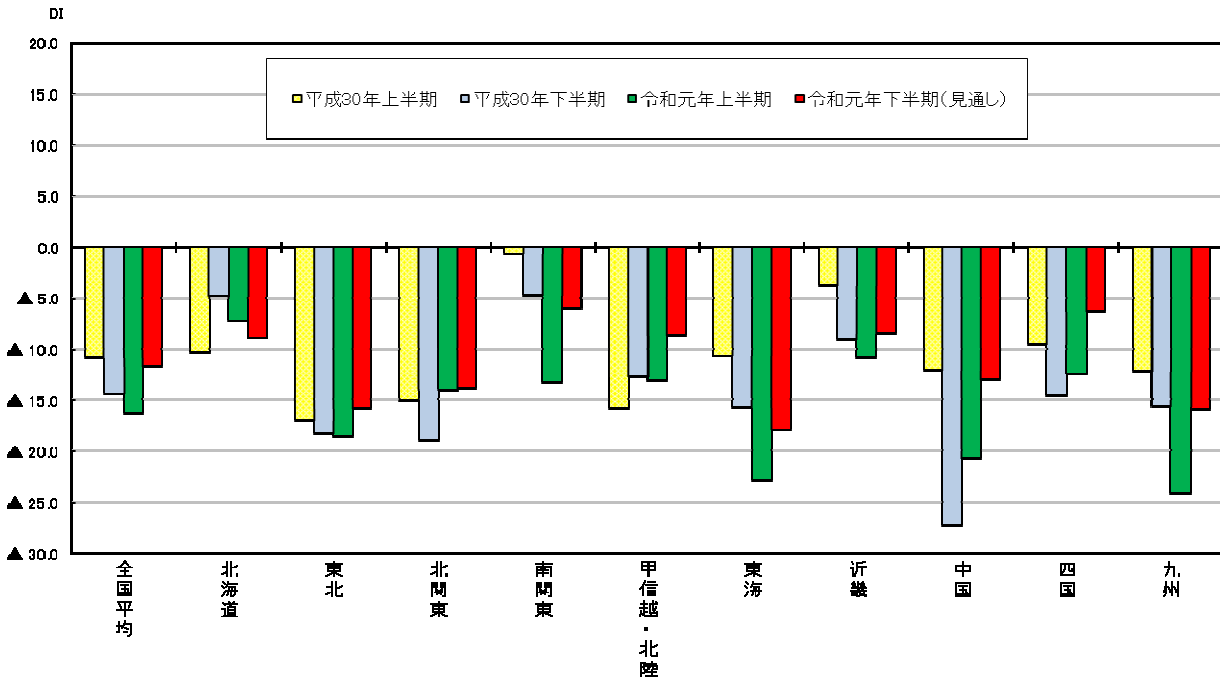
図2 景況DI (地域別)

【実績】

○令和元年上半期の地域別景況DIは、すべての地域が▲7.2～▲24.1の幅でマイナス値となり、南関東、九州、東海の順に低下幅が大きくなった。

【見通し】

○先行き令和元年下半期の地域別景況DIは、北海道を除く9地域で上昇する見通し。



	平成27年 上半期	平成27年 下半期	平成28年 上半期	平成28年 下半期	平成29年 上半期	平成29年 下半期	平成30年 上半期	平成30年 下半期	令和元年 上半期	令和元年 下半期 見通し
全国	4.0	11.0	5.9	0.6	▲ 6.4	▲ 7.7	▲ 10.8	▲ 14.3	▲16.3(-2.0)	▲11.7(+4.6)
北海道	▲ 5.3	9.3	1.3	1.3	▲ 8.5	▲ 4.7	▲ 10.3	▲ 4.8	▲7.2(-2.4)	▲8.9(-1.7)
東北	1.4	8.2	0.3	▲ 3.6	▲ 9.2	▲ 14.0	▲ 16.9	▲ 18.3	▲18.5(-0.2)	▲15.8(+2.7)
北関東	7.5	11.7	6.6	1.7	▲ 7.0	▲ 4.7	▲ 15.0	▲ 18.9	▲14.0(+4.9)	▲13.8(+0.2)
南関東	6.9	10.7	13.3	7.6	0.0	▲ 4.3	▲ 0.6	▲ 4.7	▲13.3(-8.6)	▲6.0(+7.3)
甲信越・北陸	8.9	21.0	3.8	▲ 1.5	▲ 10.5	▲ 6.1	▲ 15.7	▲ 12.7	▲13.1(-0.4)	▲8.6(+4.5)
東海	3.9	7.4	8.3	2.8	▲ 6.5	▲ 6.6	▲ 10.6	▲ 15.7	▲22.8(-7.1)	▲17.9(+4.9)
近畿	5.6	13.4	7.9	0.6	▲ 3.0	▲ 1.8	▲ 3.8	▲ 9.1	▲10.9(-1.8)	▲8.4(+2.5)
中国	0.9	10.1	10.3	▲ 1.3	▲ 11.5	▲ 17.9	▲ 12.0	▲ 27.3	▲20.7(+6.6)	▲13.0(+7.7)
四国	4.2	7.6	7.0	9.1	▲ 1.3	▲ 0.7	▲ 9.5	▲ 14.5	▲12.4(+2.1)	▲6.3(+6.1)
九州	4.0	8.6	0.2	▲ 5.2	▲ 5.3	▲ 10.0	▲ 12.1	▲ 15.6	▲24.1(-8.5)	▲15.9(+8.2)

( ) は前回との差

(注) 地域の区分

北海道……北海道

東北……青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

北関東……茨城県、栃木県、群馬県

南関東……埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

甲信越・北陸……新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県

東海……岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿……滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国……鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国……徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州……福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県(沖縄県除く)

図3 景況DI（業種別）

**【製造業】**

- 令和元年上半期の景況DIは0.1ポイント上昇し▲13.1となった。
- 令和元年下半期の景況DIは4.4ポイント上昇し▲8.7となる見通し。

**【卸売業】**

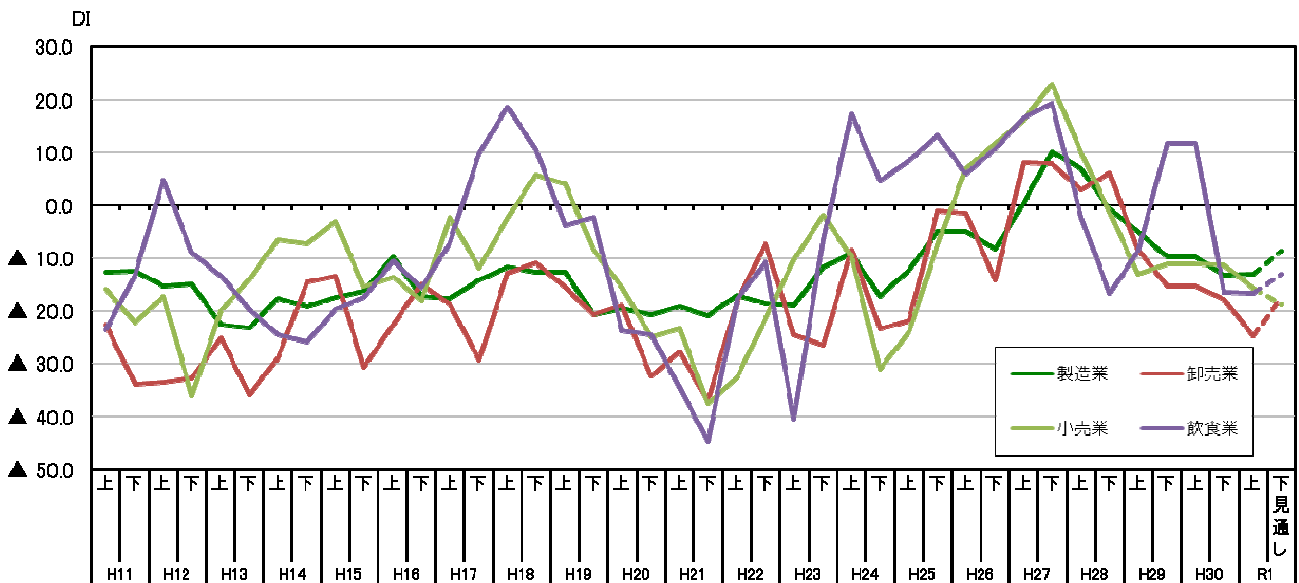
- 令和元年上半期の景況DIは7.0ポイント低下し▲24.8となった。
- 令和元年下半期の景況DIは7.3ポイント上昇し▲17.5となる見通し。

**【小売業】**

- 令和元年上半期の景況DIは4.3ポイント低下し▲15.7となった。
- 令和元年下半期の景況DIは3.0ポイント低下し▲18.7となる見通し。

**【飲食業】**

- 令和元年上半期の景況DIは0.1ポイント低下し▲16.6となった。
- 令和元年下半期の景況DIは3.5ポイント上昇し▲13.1となる見通し。



	平成27年 上半期	平成27年 下半期	平成28年 上半期	平成28年 下半期	平成29年 上半期	平成29年 下半期	平成30年 上半期	平成30年 下半期	令和元年 上半期	令和元年 下半期 見通し
製造業	0.3	10.2	6.9	▲ 0.7	▲ 4.9	▲ 9.7	▲ 9.7	▲ 13.2	▲13.1(+0.1)	▲8.7(+4.4)
卸売業	8.0	7.9	2.9	6.2	▲ 8.5	▲ 15.3	▲ 15.3	▲ 17.8	▲24.8(-7.0)	▲17.5(+7.3)
小売業	16.0	22.9	9.9	▲ 1.3	▲ 13.0	▲ 11.1	▲ 11.1	▲ 11.4	▲15.7(-4.3)	▲18.7(-3.0)
飲食業	16.5	19.4	▲ 2.4	▲ 16.7	▲ 8.9	11.6	11.6	▲ 16.5	▲16.6(-0.1)	▲13.1(+3.5)

( ) は前回との差

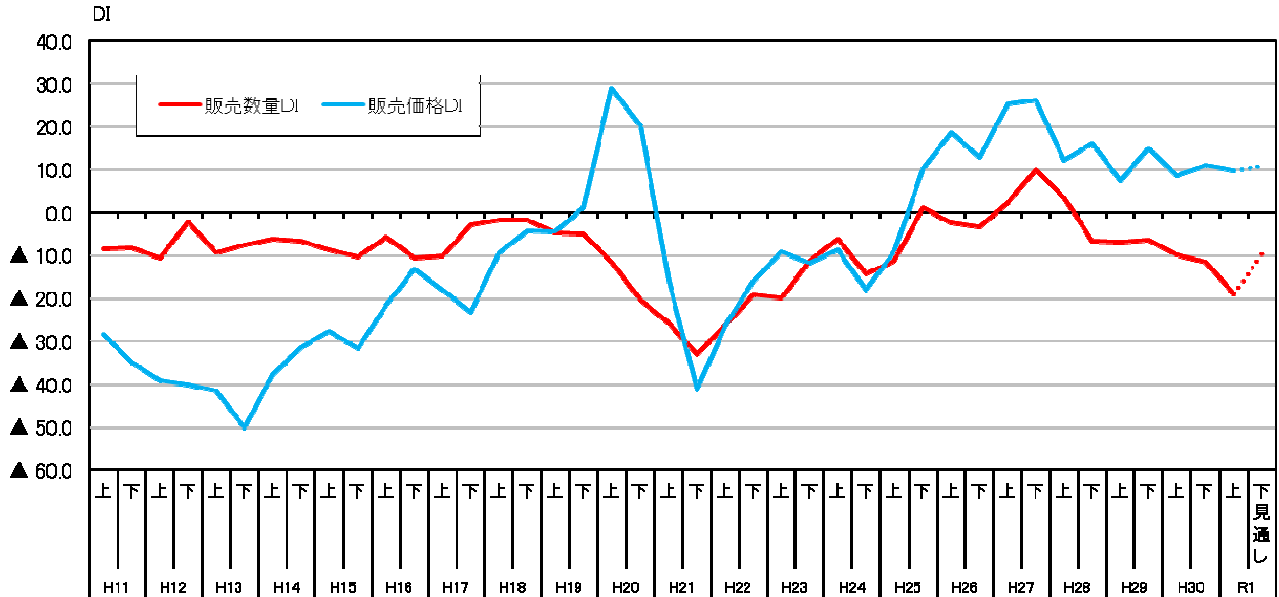
図4 販売数量DI・販売価格DI（「上昇（増加）」－「低下（減少）」の割合）

**【販売数量】**

- 令和元年上半期の販売数量DIは7.4ポイント低下し▲18.9となった。
- 令和元年下半期の販売数量DIは9.4ポイント上昇し▲9.5となる見通し。

**【販売価格】**

- 令和元年上半期の販売価格DIは1.1ポイント低下し9.9となった。
- 令和元年下半期の販売価格DIは0.8ポイント上昇し10.7となる見通し。



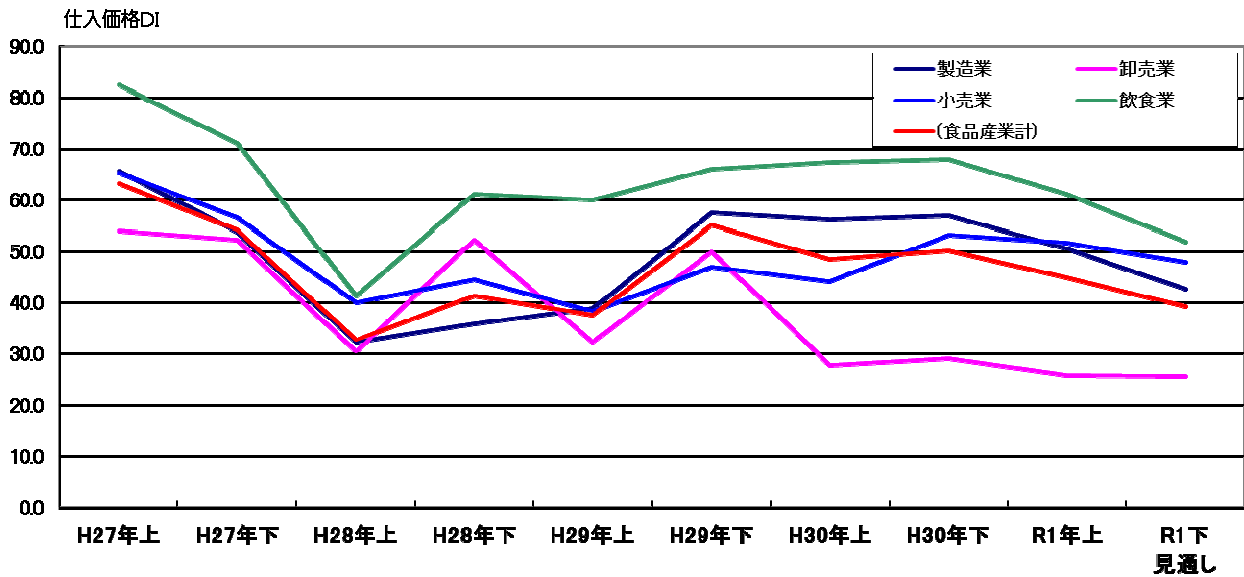
	平成27年 上半期	平成27年 下半期	平成28年 上半期	平成28年 下半期	平成29年 上半期	平成29年 下半期	平成30年 上半期	平成30年 下半期	令和元年 上半期	令和元年 下半期 見通し
販売数量DI	2.4	10.2	3.6	▲ 6.6	▲ 6.7	▲ 6.3	▲ 9.9	▲ 11.5	▲18.9(-7.4)	▲9.5(+9.4)
販売価格DI	25.4	26.3	12.1	16.2	7.6	15.1	8.8	11.0	9.9(-1.1)	10.7(+0.8)

( ) は前回との差

**図5 仕入価格DI**（「上昇」－「低下」の割合）

○令和元年上半期の仕入価格DIは5.2ポイント低下し45.0となった。

○令和元年下半期の仕入価格DIは5.8ポイント低下し39.2となる見通し。

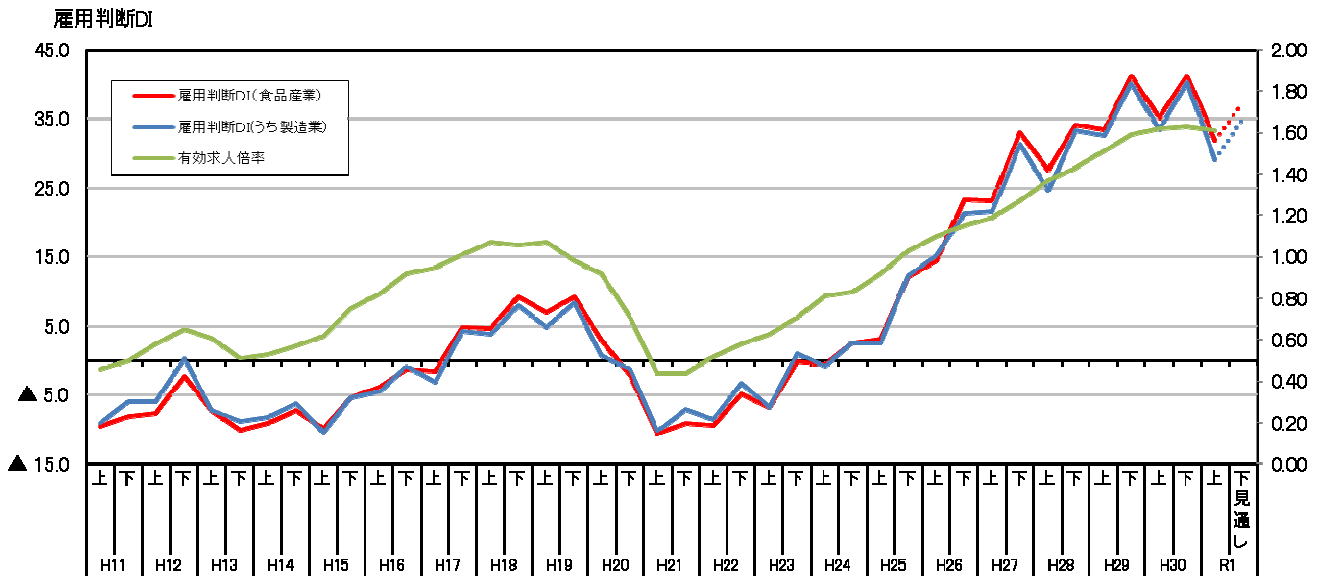


	平成27年 上半期	平成27年 下半期	平成28年 上半期	平成28年 下半期	平成29年 上半期	平成29年 下半期	平成30年 上半期	平成30年 下半期	令和元年 上半期	令和元年 下半期 見通し
食品産業	63.1	54.1	32.7	41.3	37.6	55.1	48.5	50.2	45.0(-5.2)	39.2(-5.8)
うち製造業	65.6	53.8	32.2	35.9	38.8	57.5	56.2	56.9	50.6(-6.3)	42.7(-7.9)
うち卸売業	54.0	52.3	30.4	52.2	32.2	50.0	27.8	29.1	25.8(-3.3)	25.7(-0.1)
うち小売業	65.3	56.6	40.0	44.6	38.4	47.0	44.1	53.2	51.6(-1.6)	47.9(-3.7)
うち飲食業	82.4	71.0	41.4	61.1	60.0	66.0	67.4	67.9	61.1(-6.8)	51.9(-9.2)

( ) は前回との差

**図6 雇用判断DI**（「不足」－「過剰」の割合）

○令和元年上半期の雇用判断DIは9.4ポイント低下し31.9となり、労働力の不足感は緩和される傾向。  
 ○令和元年下半期の雇用判断DIは5.4ポイント上昇し37.3となり、労働力の不足感は継続する見通し。



(注) 有効求人倍率は、新規卒卒者を除き、パートを含む。毎年6月、12月の季節調整値を用いた。

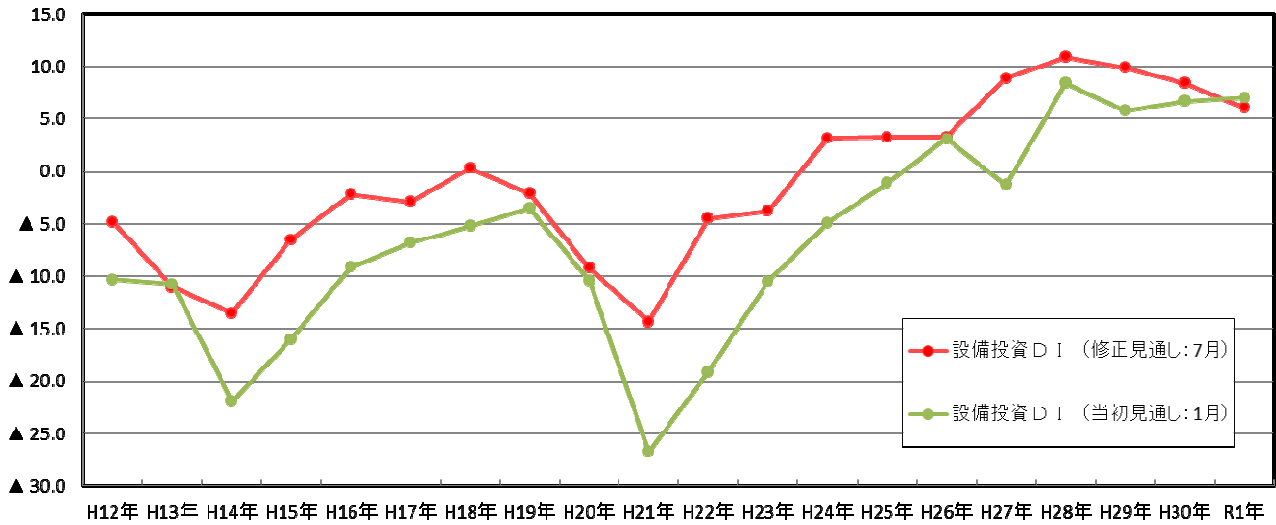
	平成27年 上半期	平成27年 下半期	平成28年 上半期	平成28年 下半期	平成29年 上半期	平成29年 下半期	平成30年 上半期	平成30年 下半期	令和元年 上半期	令和元年 下半期 見通し
食品産業	23.1	33.0	27.6	34.2	33.4	41.2	35.2	41.3	31.9(-9.4)	37.3(+5.4)
うち製造業	21.5	31.3	24.7	33.3	32.6	40.1	33.5	40.3	29.0(-11.3)	35.0(+6.0)

( ) は前回との差



**図7 設備投資DI**（「増加」－「減少」の割合）

○設備投資DI（令和元年7月時点の令和元年通年の設備投資見通し）は、前回調査（平成30年7月時点の平成30年通年の見通し）より2.3ポイント低下し、6.1とプラス値を維持。



(注) 年度途中に行う7月調査に比べ、年初に行う1月調査の方が、設備投資に対して弱含みの数値が出る傾向がある。

	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	H30/R1
設備投資DI(修正見通し:7月)	▲ 9.2	▲ 14.3	▲ 4.5	▲ 3.8	3.2	3.3	3.3	8.9	10.9	9.9	8.4	6.1(-2.3)
設備投資DI(当初見通し:1月)	▲ 10.4	▲ 26.7	▲ 19.1	▲ 10.5	▲ 4.9	▲ 1.1	3.1	▲ 1.3	8.4	5.8	6.7	7.0(+0.3)

( ) は前回との差

[参考] 景況DI (業種別詳細)

業種／業態		景況		売上高		経常利益		資金繰り	
		令和元年 上半期	令和元年 下半期	令和元年 上半期	令和元年 下半期	令和元年 上半期	令和元年 下半期	令和元年 上半期	令和元年 下半期
製 造 業	食 肉 加 工 品	▲19.2	▲14.5	▲20.4	▲6.3	▲27.4	▲20.5	▲9.9	▲16.8
	牛 乳 ・ 乳 製 品	▲5.5	2.0	0.0	10.4	▲7.5	4.5	▲9.0	▲9.0
	水 産 食 品	▲15.1	▲5.2	▲11.0	▲1.6	▲25.6	▲7.1	▲8.7	▲7.0
	農 産 保 存 食 品	▲10.7	▲13.3	▲10.1	▲10.2	▲15.3	▲14.5	▲6.8	▲15.2
	調 味 料	0.7	▲4.2	9.8	5.8	▲3.9	▲14.5	▲3.9	▲3.8
	精 穀 ・ 製 粉	▲5.0	1.4	▲13.0	4.3	▲4.3	0.0	2.2	0.0
	パ ン	▲5.4	▲7.5	▲16.1	▲9.7	▲3.2	3.2	3.2	▲16.1
	菓 子	▲17.9	▲9.5	▲12.8	▲4.8	▲26.8	▲8.6	▲14.1	▲15.2
	め ん 類	▲1.7	▲3.5	3.5	0.0	▲10.5	▲8.7	1.8	▲1.8
	冷 凍 食 品	▲10.5	5.8	▲8.6	17.3	▲21.1	0.0	▲1.8	0.0
	炊 飯 ・ そ う 菜	▲4.7	▲0.4	5.6	4.2	▲16.9	0.0	▲2.8	▲2.9
	飲 料	▲8.3	▲6.4	▲15.3	1.9	▲9.6	▲5.9	0.0	▲11.5
	酒 類	▲26.1	▲23.1	▲35.3	▲25.5	▲28.7	▲25.4	▲14.4	▲18.3
	そ の 他	▲15.3	▲13.3	▲15.9	▲12.4	▲21.4	▲14.3	▲8.6	▲13.3
	(製造業計) ①		▲13.1	▲8.7	▲12.2	▲4.8	▲19.5	▲10.7	▲7.7
卸 売 業	各 種 商 品	▲8.1	▲9.6	▲4.3	▲12.9	▲17.1	▲11.4	▲2.9	▲4.4
	穀 類 ・ 豆 類	▲11.1	▲0.8	▲11.1	4.6	▲20.0	▲2.3	▲2.3	▲4.6
	青 果 物	▲31.7	▲17.6	▲44.1	▲16.0	▲42.3	▲24.3	▲8.8	▲12.4
	食 肉	▲25.7	▲19.0	▲15.9	▲18.2	▲43.1	▲22.7	▲18.2	▲16.0
	生 鮮 魚 介	▲29.4	▲25.4	▲42.2	▲29.6	▲33.6	▲29.0	▲12.4	▲17.6
	そ の 他 生 鮮 品	▲47.0	▲45.2	▲63.2	▲57.9	▲61.1	▲44.4	▲16.7	▲33.3
	そ の 他 飲 食 品	▲18.8	▲15.6	▲26.6	▲10.6	▲18.1	▲21.3	▲11.7	▲14.9
(卸売業計) ②		▲24.8	▲17.5	▲32.0	▲17.4	▲32.5	▲22.0	▲9.8	▲13.2
② 関 係 業 者 の う ち 市 場	う ち 市 場 開 設 兼 卸 売	▲40.5	▲21.1	▲58.2	▲26.5	▲54.4	▲23.5	▲8.8	▲13.2
	う ち 市 場 卸 売	▲38.7	▲23.9	▲53.5	▲25.0	▲44.4	▲28.4	▲18.2	▲18.2
	う ち 市 場 仲 卸	▲23.5	▲22.1	▲36.6	▲21.1	▲28.2	▲32.4	▲5.7	▲12.7
(小売業) ③		▲15.7	▲18.7	▲17.2	▲20.5	▲24.6	▲27.7	▲5.3	▲7.9
(飲食業) ④		▲16.6	▲13.1	▲11.1	▲9.4	▲22.2	▲18.9	▲16.6	▲11.1
(食品産業計) ①~④計		▲16.3	▲11.7	▲17.4	▲9.2	▲23.2	▲15.0	▲8.2	▲11.0

お天気マークは、DI値によって次のとおりとしています。

≤ -20 < ≤ -5 < < 5 ≤ < 20 ≤